

各種検定試験に対する 取り組みについて

2016年2月24日
ANAセールス株式会社

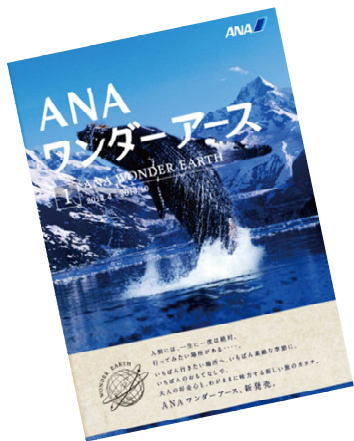
1-1. ANAグループの紹介

- **商号**
ANAホールディングス株式会社
- **グループ従業員数**
33,719人(連結) [2015. 4月現在]
- **売上**(2014年度)
1兆7,134億円
- **代表者**
代表取締役社長 片野坂 真哉
- **創立**
1952年12月27日
- **ネットワーク**
国内線(2014年4月)
旅客 800便/1日
国際線
旅客 160便/1日



1-2. ANAセールス株式会社の紹介

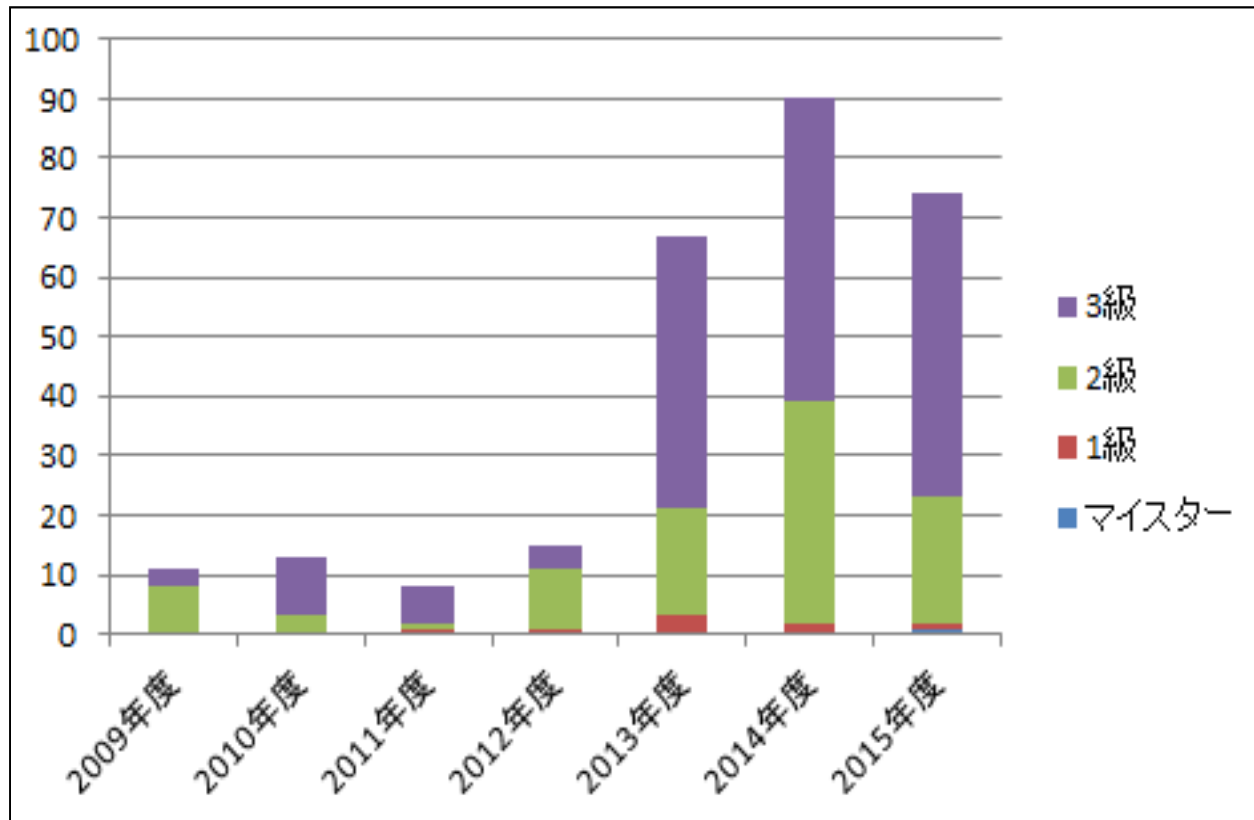
本社所在地	東京都中央区日本橋2-14-1
設立	2002年1月8日
資本金	10億円
社員数	1,586名(2015年4月現在)
事業内容	■航空セールス事業 (国内線および国際線のANA航空券販売、自社旅行商品の販売) ■旅行事業 (旅行商品の企画、WEB販売、訪日旅行、旅行積立)
事業所	国内事業所:33か所、海外現地法人:3社



2. 検定試験 受験の経緯

- ～2009 一部の職場にて受験者が徐々に増加する。
- 2010 受験料・教材の還付を実施する。
検定試験に対する全社周知を実施する。
- 2011 カウンター担当、添乗員に対する働きかけを積極的に実施
社内報に合格者の声を掲載
経営者による働きかけ
- 2013 経営指標に検定試験合格者を明示する
- 2014 世界遺産検定 団体受験を、弊社沖縄支店 事業所内にて実施
(各事業所ごと、検定試験の受験を競い合うようになる)
- 2015 世界検定試験 において「文部科学大臣 特別賞」受賞

3-1. 検定試験 合格者数(世界遺産検定)

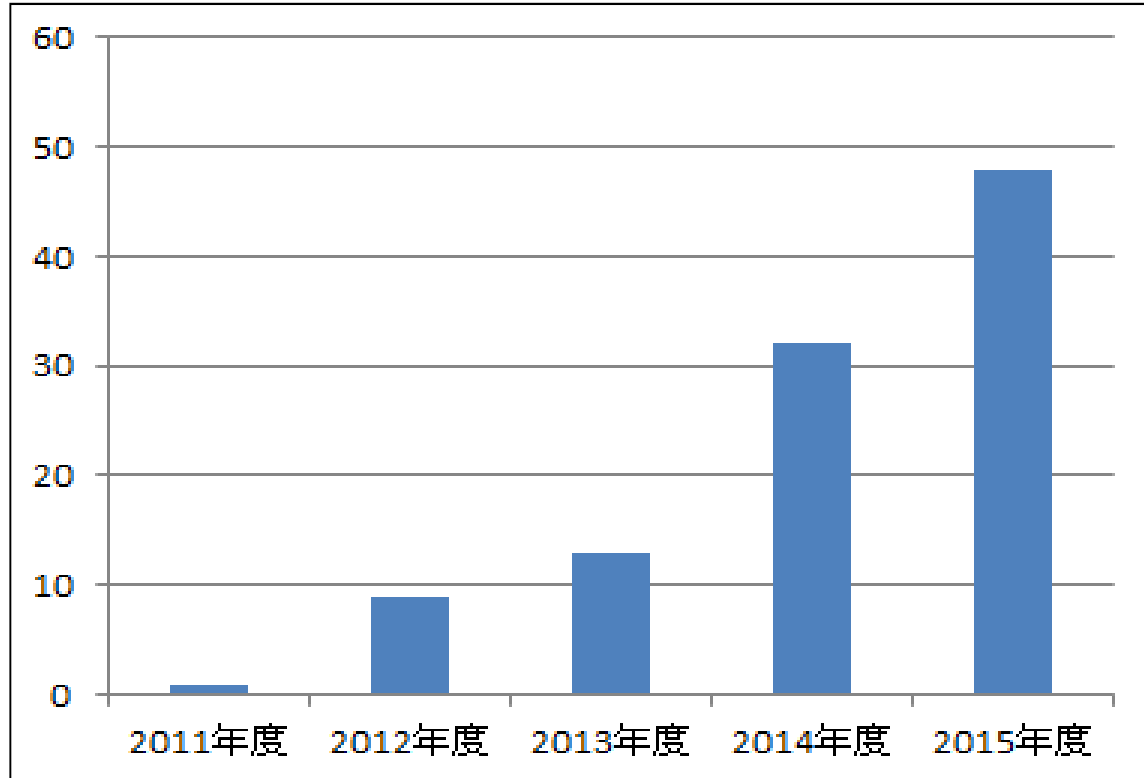


【社内での取り組み】

- ・合格者への「受験料」、「公式テキスト代」還付
- ・社内ガイダンス実施
- ・過去問題、最新情報の共有
- ・準会場設定
(名古屋支店、沖縄支店)
- ・名刺ロゴの起用
(スペシャリスト、1級、2級)

	マイスター	1級	2級	3級	合計
2009年度			8	3	11
2010年度			3	10	13
2011年度		1	1	6	8
2012年度		1	10	4	15
2013年度		3	18	46	67
2014年度		2	37	51	90
2015年度	1	1	32	51	85
合計	1	8	109	171	289

3-2. 検定試験 合格者数(ご当地検定)



認定者状況(2015年度)	
東京シティガイド検定	2名
くしろ検定	2名
かごしま検定	1名
沖縄歴史検定	2名
富士山検定	20名
なにわ何でも大阪検定	21名
鎌倉観光文化検定(3級)	1名
京都・観光文化検定(3級)	1名
計	48名

【社内での取り組み】

- ・会社として受験推奨したい
ご当地検定を「**強化検定**」と設定。
「強化検定」は会社で受験取りまとめ。
- ・「強化検定」以外も
「**個人選択型検定**」として設定し、
受験可能
- ・合格者への「受験料」、
「公式テキスト代」を還付

【強化検定】

- ・東京シティガイド検定
- ・なにわ何でも大阪検定
- ・沖縄歴史検定 など

4. 経営指標の目標達成状況

【累計実績・目標数】

2016.1.6時点

資格名	2013年度	2014年度		2015年度		2016年度(予定)	
	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
総合旅行業務 取扱管理者	829名 (16名合格)	842名 (+13名合格必 須)	857名 (28名合格)	868名 (+12名合格必 須)	879名 (22名合格)	880名 (+12名合格必 須)	
JATAエリア・ スペシャリスト (AS)	335名 ※DS:11名合格 世界遺産:67名 合格 ご当地:13名合格	375名 (前年度より+40 名合格必須)	479名 ※DS:22名合格 世界遺産:90名 合格 ご当地:32名合 格	516名 (前年度より+40 名合格必須)	635名 ※AS:21名合格 ※世界遺産:85 名合格 ※ご当地検定: 50名合格	556名 (前年度より+40 名合格必須)	
世界遺産検定							
ご当地検定							
TOEIC		必須受験		必須受験		必須受験	

5. 検定試験の活用に関するコメント

(検定事業者)

- ・メディアの活用があると、世界遺産検定の様に、受験者が拡大する。
- ・ご当地に行けないと受験できないことが課題。
WEB受験など工夫すれば受験者も拡大する。

(地域)

- ・ご当地検定リストは、地元自治体の後押しがあると、さらに周知が図れる。

(情報公開)

- ・ご当地検定リストなど、全国各地、多種に点在する「検定試験」が一目でわかるリストなどがあると、活用しやすくなる。
- ・検定試験の内容、テーマ、分野、例題、過去問題集、さらに合格点や合格率があると受験の目安になる。

(その他)

- ・シニア人材を講師として活用した検定試験の講習会などを実施すれば、現役退職後の生涯学習の目標(学習のやりがい)になる。

ご清聴ありがとうございました。

